

# 雲北陵月報

No. 426

令和3年2月26日  
出雲北陵中学高等学校  
土江明文社 印刷



## 『自然体』『努力』

学年主任 石川 剛 直

3年生の皆さん、卒業おめでとう  
ございます。私は学年主任として2  
学年次から皆さんを見てきました。  
私自身、初めての学年主任で、生徒  
の皆さんや学年部の先生方に何がで  
きるだろうか自問自答し、手探り状  
態でした。今までの学年主任を模範  
にしようとも思ったのですが、自分  
の性格と違うこともあり、できるだ  
け「その場で感じたことで触れ合お  
う」と思うようになりました。いわ  
ば『自然体』といえるのでしょうか。  
しかし、私にはどうしても越えな  
ければならない壁がありました。そ  
れは声掛けです。教員がなぜ？と思  
われるかも知れませんが、特に人見  
知りがあるわけでもないですが、昔  
から苦手意識がありました。ここか  
ら生徒174名の担任としての始まりで  
す。まず、5組を除く残り5クラス  
の授業を受け持つことで顔や名前を  
覚え、そしてキャリア教育関西研修

旅行や球技大会などで積極的に声掛  
けをするようにしました。そうした  
ことを続けることで変化が起きまし  
た。数は少ないのですが、生徒の皆  
さんから話し掛けてもらったり、た  
わいもない会話もできるようになり  
良い関係をつくることができました。思  
います。55歳の私にとって、今まで  
にないエネルギーを注ぐことになり  
ましたが、「自分を変えることができ  
る」と『努力』を実感しました。  
皆さんは、これから学校や会社な  
ど新たな環境に飛び込みます。18歳  
の皆さんは、これから色々な人と出  
会い、新たな夢を実現させるべく頑  
張ることでしょう。  
人生を自分なりに楽しもうと思っ  
ても、うまくいかなかったら『自然体』  
で振る舞い、少し頑張る『努力』を  
してください。人はいつでも変わる  
ことができるのです。

### 過去を誇りに思う



三年一組担任  
畑 宗一郎

出雲北陵での3年間はもうでし  
か？満足して卒業できますか？『今』だけ  
を見ると、どうしてもだるいとか、しんど  
いとか、マイナスイメージが生まれてきま  
す。そんな会話を何度も1組で聞いたこ  
とがあります。その反面、あの時こうだっ  
たよな、あの時こんなことで怒られたよ  
な、といった過去の会話を何度も聞いた  
ことがあります。『今』はしんどくても、  
いづれ『過去』になって、面白かったな  
と思える時が必ずやってきます。『今』  
は後悔が多くても、いつか『よかった』  
と思える時が来ると思います。北陵で過  
ごした『過去』が皆さんのこれからの挑  
戦を後押ししてくれることを願っていま  
す。皆さんが将来胸張って、北陵で良かつ  
たと言えるように、私もより良い学校に  
なるよう努力していきます。  
1組のみんな！卒業おめでとう！

### 贈る言葉



三年二組担任  
井上 美代

卒業おめでとうございます。一年とい  
う短い期間でありましたが、皆さんの担  
任をさせていただき、楽しい一年を過ご  
すことができました。新型コロナウイルス  
によって奪われたことはたくさんあり  
ましたが、新たに発見したこともたくさ  
んあったのではないのでしょうか？  
私の大好きなDREAMS COME  
TRUEの歌に『何度でも』という歌  
があります。

10000回だめでへとへとになっても  
10001回目は何か変わるかもしれない  
きみを呼ぶ声力にしていくなか何度も  
明日がその10001回目かもしれない  
この歌詞のように、困難があっても色  
んなことに挑戦してください。2021年

からは「風」の時代となります。失敗を  
恐れず、若い皆さんの力で新しい風を吹  
かせてください。何度でも挑戦する皆さ  
んの今後に期待します。楽しい時間を有  
難うございました！

### 3組のみんなへ



三年三組担任  
松井 仁志

ご卒業おめでとうございます。心から  
お祝い申し上げます。時間の流れはあつ  
という間で、つい最近まで、進路の話  
して過ごしていたのに。それが、つい  
昨日のことのように感じられます。皆さ  
んは、いよいよ4月から今までは180度  
違うスタイルになり、自分の言動に対す  
る責任の重さがこれまでと大きく変わ  
ります。楽しみな分、不安なこともたくさ  
んあると思います。でも、持ち前の明る  
さとバイタリティーを持つ3組の皆さん  
であれば、きっと何事にも乗り越えられ  
ることでしょ！新たな夢や興味あるも  
のに全力でトライして欲しいです。今後  
の活躍を学び舎からお祈りしています。

### 卒業生へ贈る言葉



三年四組担任  
福間 宣弘

卒業おめでとうございます。この2年  
間、普段の授業はもちろんです。その他多  
くの場面でも多くの時を皆さんと過ごして  
きました。その中で私にとって印象的  
だった場面の一つは、昨年図書室の隣の  
部屋で行った面接練習でした。全員とで  
はありませんでした。改めて一人ひと  
りと相手しているのと「こんな思い、熱意  
を持っていたんだ」と気付きました。3  
年生の後半になってやっとなか、と思われ  
るでしょうが。私にとっては新たな発  
見で、皆さんの大きな成長を感じました。  
まだ大変な生活が続きますが、これから  
の皆さんの成長にも期待します。

### 旅立ちの日に



三年五組担任  
泉 一則

今から約3年前の4月、勉強特訓で希望と不安の入り混じった表情を見せていた皆さんとの出会いが、懐かしく思い出されます。

高校生活は社会に出るための準備期間です。その準備期間に学業・部活動・生徒会・行事などに一生懸命に取り組み、周囲の人達を支え、周囲の人達から応援されるような人間性を身に付けることが大切です。このクラスの良いところは、何事にも素直に謙虚に懸命に取り組んだこと、周りの人達を認め、ともに高めあうことができたこと、言われなくても進んで行動できたこと、そして周囲から応援されるような人間性を身に付けたことです。この成長の勢いがあれば卒業後も輝けることは間違いのないと思います。

高校3年間、あるいは中高6年間をとっても過ごしてきましたが、日々成長していく皆さんと過ごす時間は私にとっても充実した時間でした。4月からそれぞれ場所へ新しい一歩を踏み出す皆さんをいつまでも応援しています。そしていつかまた会える日を楽しみにしています。卒業おめでとう！

### 卒業おめでとう



三年六組担任  
竹内 康貴

朝教室を覗くと、いつもの雑談や笑い声はなく、机と椅子だけが静かに佇んでいます。主たちのいない教室を見るとただただ寂しさがこみ上げてきます。

芸術コースの22名は、この3年間、学

業に、部活動に、そして芸術活動によく努力し、互いに切磋琢磨しながら高みを目指して成長しました。そして、皆さんは本校に素晴らしい足跡を残しました。本校で培った経験と出雲北陵高等学校卒業生としての誇りを胸に、『柔しく剛く』、立派な社会人になってください。そしていつまでも変わらない君達でいてください。いよいよ巣立ちのとき。皆さんとの別れは辛く寂しいですが、私も皆さんと一緒に新たな一歩を踏み出そうと思えます。

卒業、おめでとう！

### 男子バスケットボール部

中国高等学校バスケットボール新人大会

時 2月6・7日  
於 ジップアリーナ岡山

1回戦

本校 70-93 広島皆実(広島)

○大会総評

中国地区の上位が集まった大会であったが、今年度は広島3位で出場した広島皆実高校に完敗した。県外遠征が例年より少なく、経験不足が現れた試合内容であった。課題が多くあるので一つ一つを克服し、全国を目指してしっかりと精進していきたい。(顧問 手島幹人)

### サッカー部

令和2年度島根県高校サッカー新人大会

時 2月5日  
於 出雲高校グラウンド

1回戦

本校 0-0 出雲高校

○大会総評

部員が少ない状況ではあったが、協力してくれた選手のお陰で11人揃って大会に臨むことができた。結果は残念ではあったが、得るものも多くあった。これから



らの成長に期待し、来年度に向けて改めて日々のトレーニングに一杯取り組んで欲しい。世の中が大変な状況である中、今回の大会が実施されたことに感謝したい。最後になりましたが保護者の皆様をはじめ、多くの方々のご協力をいただき、有難うございました。(顧問 鈴木雄介)

### 合唱部

島根県ヴォーカルアンサンブルコンテスト

時 2月7日  
於 島根県民会館 中ホール

### 高等学校部門 金賞

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、例年行われていた合唱コンクールが全て中止となった。この大会が初めての大会となったが、3年生が引退し、新体制で初のコンクールで緊張もある中、日頃の練習の成果をステージで披露することができた。今回演奏した曲はO FILII ET FILIAEとUT CARITAの2曲。ピアノ伴奏のないアカペラの曲であったことに加え、ラテン語の歌詞の発音や言葉の意味を考えて表現することは難易度が高かった。しかし、部員達は昼休みの時間も自主的に集まって練習をするなど、精一杯練習に励み、見事金賞を受賞した。今後更なる演奏の向上を目指し、日々練習に励みたい。(顧問 太田裕子)



### 吹奏楽部

第44回全日本アンサンブルコンテスト中国大会

時 2月7日  
於 倉敷市民会館 大ホール

本校からは木管5重奏が出場した。難曲で知られる曲であったが、美しい音色で素晴らしい演奏を披露することができた。結果は銀賞という悔しいものであったが、それ以上に大変貴重な経験をすることができた。

この貴重な経験を糧に、更にレベルの高い演奏、そして皆様に愛されるバンドを目指し、日々精進していきたい。引き続きご支援のほどよろしくお願ひ致します。(顧問 竹内康貴)

・木管5重奏 銀賞  
ディベルテイメント/J. ハイドン

### 卒業直前講座

時 2月10日  
於 本校黎明ホール

卒業を直前に控えた3年生が卒業直前講座を受講した。この講座は3年間の教育活動の締めくくりとして毎年行われているものである。10日には本校卒業生会長でもある森脇俊樹税理士をお迎えし、租税教室を開催した。



消費者講座の様子



租税教室の様子

税金の仕組みについてクイズなどを交えて分かりやすくお話しいただいた。また県環境生活部環境生活総務課の遠藤紀子先生からはSNSに関するトラブルやその対処法についてお話をいただいた。この講座で学んだことを生かして4月からの新しい環境で頑張ってもらいたい。(3年主任 石川剛吾)

### 美術・CGデザインコース 第20回出雲北陵高校卒業制作展

時 2月13・14日  
於 出雲文化伝承館

美術・CGデザインコースの3年間の集大成である卒業制作展が出雲文化伝承館で行われた。会期中は暖かい春めいた日差しの中、例年にならぬ24人の来場者を迎え、賑やかに開催することができた。本年は「成蝶」をテーマに、それぞれの個性を生かしながら制作、運営・広報に1年間準備をしてきた。会場は個性あふれる力作が並び、高校生らしい爽やかな展示会となったと感じている。今後はそれぞれの進路に進むことになるが、この3年間の糧に将来へ向かって努力を続けてくれることを期待している。開催にあたり、ご支援いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。



卒業制作展の様子

### 出雲北陵高等学校 音楽コース 第28回卒業演奏会

時 2月21日  
於 ビッグハート出雲

音楽コース28期生10名による卒業演奏会を開催した。生徒達はそれぞれ各専攻教官の指導の下で積み上げた実力を発揮し、3年間の集大成となる見事な演奏を披露した。

ここに至るまで様々な形でご支援、ご声援を賜りました保護者の皆様をはじめ、各専攻教官の皆様、地域の皆様、ご来場いただきました皆様、関係者の皆様から感謝申し上げます。

### 普通救命講習(保育・看護(医療系))

時 2月15日  
於 出雲市消防本部

2年生の保育系列生徒7名と看護・医療系列生徒10名の計17名が出雲市消防本部にて普通救命講習を受講した。

コロナ禍の影響で間隔を取るなど感染対策を徹底した中での実習となったが、生徒達は真剣に話を聞きながら救急救命の大切さなどを教わった。



実習の様子

### 中学校 第3回合同道徳

時 2月8日  
講師 高橋豊副校長

「人物から学ぶ」という題で、高橋副校長による合同道徳を行った。スケートの羽生結弦選手と元樺坂48の平手友梨奈さんにスポットをあて、「表現力・人間力・全力」の3つの力の大切さについてお話いただいた。生徒達は皆、熱心に聞いていた。

#### 【生徒感想】

今日、高橋副校長先生の「人物から学ぶ」というお話を聞いて、自分のためになることを沢山学べました。

まず羽生結弦選手のお話を聞きました。羽生選手は乗り越える力、人のために生きるということ、周りへの感謝を忘れないことを大切にしているそうです。その中で、私が特に印象に残っていることは、「弱さは強さ」という言葉です。この言



本年度も中学2年生を対象としたスキー研修を実施した。最初はスキー板の操作や慣れない動きに戸惑いもあったが、午前2時間程の練習でほとんどの生徒が滑ることができるようになった。また、班で協力し合い、転んだ生徒を助け合う様子などが見え、協調性や自主性を育むことのできた良い研修となった。

### 中学2年生スキー研修

時 2月5日  
於 琴引フォレストパーク

私は今日のお話を忘れずに、挑戦し続け、卒業までの残り少ない中学校生活を大切に過ごしていきたいと改めて強く感じました。



葉は、弱いということはこの世から強くなれる可能性があるということだと思います。私は今、受験勉強で思うような結果が出なかつたり、他人と比べて悲しくなつたりすることもありますが、自分ももっと強くなれる可能性があると感じて、頑張ろうと思うことができました。

### 出雲科学館 理科学習(中学2年)

時 2月2日  
於 出雲科学館

「電気の世界」のテーマで理科学習が実施され、中学2年生が取り組んだ。

1時間目はサイエンスホールにおいて静電気の性質と発生の仕組みを調べる実験、その原理を利用したコピー機の仕組みを紹介する実験、静電気で蛍光灯が光る現象を確認した後、流れる電流の正体が電子であることを導く実験などを観察した。いずれも興味関心を引くものであった。

2・3時間目は3人1組の班に分かれ、電力の異なる電熱線を使って一定電圧のもとで水の上昇温度を測定する実験を行い、その結果をグラフに表して考察した。生徒達は装置の回路の組み立てや測定グラフ化などをスムーズに行い、協力して積極的に取り組むことができた。

平素の授業で得た知識が科学館での実習によってより深い理解につながった。今後も科学館での学びの場を有効に活用していきたい。最後に毎週周知の準備をしていたいただいている科学館のスタッフの皆様へ改めて感謝申し上げます。



2・3時間目の実験の様子

## 作品と研究

## 「礼法を学んで」

嘉村 咲依 (11歳)

「当たり前前のマナーを当たり前にする。」

私が礼法の授業を通して一番大切だと思っが一番難しいと思っただことです。私たち高校生は、毎日大人と一緒に生活をしています。毎日顔を合わせ、同じ場所、同じ物を使い、同じ授業を受けます。その中で、誰もが当たり前前のマナーを当たり前にしなればなりません。例えば、気持ちの良い挨拶をすること、公共物を大切に扱うこと、物の受け渡しの仕方などです。簡単そうに思えて正しい方法で行うのは、当たり前前にできる簡単なことではありません。しかし、そのマナーができなければ自分の気づかない所で、相手を不愉快な思いにさせてしまったり、迷惑をかけたりまするかもしれません。始めから当たり前にするのが難しいのなら、気づいたときにできる事からすることが大切だと思います。

礼法の授業を通して「当たり前前の事」がとても大切だと改めて感じました。これからも正しい作法が当たり前前にできるように心がけて生活したいと思います。そして、誰もが気持ち良く生活できるように、一人ひとりの意識も高めたいものです。

森脇 友智 (14歳)

一学期の最初の頃、僕は礼法の授業は他の高校にはない教科であり、大学入試にはあまり影響しないため定期テストである程度点数がとれたらそれでいいと思っただことでした。しかし、礼法の授業をしていくうちに礼法の本質や目的を理解していくにつれ授業をする意味が分かってきました。人間というのは自分ひとりです生きることは絶対にできません。他人と協力し合っ社会を築いていくのですが、礼儀作法を何も知らない人とは幸せな社会を創造できないと僕は思っています。人は年齢、性別、性格などが全く異なる中で、現在、そして過去も互いに尊重しあひ生活をしていきます。今も生活できている一つとして、礼儀作法があるからだと思っしています。また、この出雲北陵高等学校の「礼法」という授業によって、自分の礼儀作法は身につけてきたと思っしています。

本校の校訓である「柔しく剛く」のように相手の立場に立っ考え、自分を律する剛い心をもつこともこれから社会に出るときに必要ではないかと思っいます。僕はこの一年間、この授業を受けて、「礼法」という教科は、国語や数学よりも重要な教科だと思っようになりました。僕はこの授業がきっかけで礼儀作法の大切さを知ることができたので、これから新しく入っってくる一年生にもぜひ礼法の大切さを知ってもらいたいと思っいます。

赤神 陽向 (15歳)

私は礼法の授業で礼儀作法や物の受け渡しなど新しいことをたくさん

習いました。それを実際に日々の生活でいかそうとしても、最初はなかなか慣れず失敗してしまっことはよくありました。しかし、授業や実習などを繰り返していくうちに少しずつですが、できるようになりました。私は、職員室や事務室に入るときに緊張してしまっ、行動があいまいになってしまっますが、学習したことのできたときはとてもうれし気持ちになりました。礼儀作法は私にとっ少しかたいイメージしかなかったのですが、相手に感謝の気持ちを伝えたり、相手を尊敬したりすることがとても素敵だと思っしました。

私は学校だけでなく、習い事や私生活でも意識していきたくです。授業で学習した一つひとつのことを実践していくと気持ちもすっきりとしました、相手にも喜んでもらえた経験をとくさんしました。その時、私もとてもうれしくなりました。礼儀作法は相手も自分自身も気持ちやすきりとし明るく元気になれることに気がつきました。

だから、これからも礼儀と作法の意味をしっかりと考えながら日々生活していきます。そして、心身ともに健康で気持ちよく日々を過ごしていけるよう自分から行動して頑張っていきたくです。

権代 雅人 (16歳)

僕は礼法を勉強して良かった事が二つあります。一つ目は衣服のたのみ方です。僕は下宿させていだきながら登校しています。だから、いろいろな場面で服をたむむことが多です。しかし、今まで簡単にた

んでいたため、すぐに形が崩れてしまひ、置き場が広がって困っていました。そんな時に、礼法の授業で学んだたみ方をしたら、形もきれいですし、場所もそんなにとらえずに収納することができました。これからも、学んだたみ方を続っていきたくです。

二つ目は、基本的なことです。僕は中学の頃に挨拶や礼などがあまりできませんでした。しかし、この礼法でいろいろと細かな動きを学び意識していくことで自然とできるようになりましました。挨拶の声や、礼の角度をきちんとすることができて良かったです。

これから、大学受験や就職試験の時などに、この礼法で学んだことが役立つときがくると思っます。だから、これからも毎日習った事を忘れないように、授業が終わっからノートを見る習慣をつけ、行動に移してしっかり身に付くようになったいです。

今月の「現る」  
1枚

藤原 香織 (23歳)